

講演会

TPPって何だ！！…日本の農林水産業は壊滅的打撃、 食の安全・安心はどうなる？肥料原料は？

講師：農学博士 NPO たい肥化協会 理事 大嶋 茂男 氏

日時：2011年**5月21日(土)**

14時30分～16時30分 (開場:14時15分)

場所：**ラパスホール** (東京労働会館 7F)

東京都豊島区南大塚 2-33-10 (地図裏面)

交通：JR山手線大塚駅南口・都電荒川線大塚駅 徒歩5分
地下鉄丸の内線 新大塚駅 徒歩7分

参加費：1,000円 (NPO 法人 有機農産物普及・堆肥化推進協会 正会員は500円)

申込み：**5月9日(月)まで** に住所、氏名、電話、FAX、所属名をご記入の上、
FAXでお申し込み下さい。(個人情報は、受付リスト作成・今後の会合案内に利用
する以外には使用しません)。

定員：80名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)。

主催：NPO 法人 有機農産物普及・堆肥化推進協会

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-1 ミヤナガビル 201号

TEL 03 (5410) 3735 FAX 03 (5410) 5267

ホームページ <http://www.taihika-kyokai.or.jp>

プロフィール

農学博士。創立以来、NPO法人有機農産物普及・堆肥化推進協会理事。NPO法人中小企業・地域振興センター理事長。神奈川県自治体問題研究所副理事長。公害・地球環境問題懇談会「地球環境問題」責任者。

大嶋茂男氏がTPP問題を食料危機の問題と、生ごみ堆肥化運動との関連から話します。現在の食料価格の高騰は、従来もあつた食料品の値上がりとはまったく様相を異にしています。人類が直面する深刻な食料危機と結びついているからです。

FAO (世界食糧機関) は、「2050年までに、世界の人口は92億になる。食料を今より7割増産しなければならない。」と言いますが、現実にはその条件がほとんどありません。加えて、リン、カリ肥料の不足が目立つようになり、化学肥料依存の農業は非常に困難になりつつあります。だから、生ごみを生かした地域循環型の持続可能な農業を構築しなければなりません。こうした流れをつくれるのか、TPPの大波をかぶってこの道が閉ざされるのか、「日本農業の分かれ道」の話をもとに、ともに考えましょう。